

武蔵野美術大学 卒業記念

納田 高昭 個展

くなごみの風く

平成27年4月23日(木)～28日(火)
午前11時～午後7時(最終日は午後4時まで)



作家の言葉

2008年10月武蔵野美術大学造形学部、通信課程油絵学科に67才で入学。5年、足かけ7年かけて2014年3月無事73才で卒業いたしました。それをキッカケに二紀会兵庫県支部・一般に入会し、アトリエで制作活動に勤んでいます。テーマは「なごみの風」。コンセプトは微笑み、癒し。作風はジャン・ジャンセンの作品の翳りと想いを感じ、カンディンスキーの鮮やかな色彩感覚に近づきたく、想っています。モチーフはヨーロッパ、アメリカ等、海外旅行に行った時の人物、風景の感動と身近な野菜、花を高彩度補色対比、笑顔が浮かび、穏やかな心になる誰にでもわかる優しく、楽しく、心地よく日常の光と翳と色を鮮やかに表現する絵を描ければと願っています。何のために絵を描くのか？苦しみと不安、無心に絵を描くことの喜びと、生きている今に幸せを感じている自分がいます。ご高覧頂ければ幸いです。



今回の展覧会は、武蔵野美術大学卒業記念 納田高昭個展「くなごみの風」です。会場には、40号を中心に66点の作品が並ぶ、大変華やかで見応えのある展示になりました。

作品は、アメリカやイギリス、スイスなどを舞台に、そこで生活する人々や街をモチーフに描かれています。特にたくさん描かれている人は皆いきいきとしていて、日本人とはまた違った力強い魅力があります。

たくさんの鮮やかな色を使って描かれた作品は、色のハーモニーが心地良く、油絵の具のダイナミックなテクスチャーと合わさって独自の表現へと繋がっています。海外の街と人の生命力やエネルギーの強さに、見ていると元気をもらえる作品です。

納田さんの描くことに対する情熱と、自分らしく表現しようとする気持ちが伝わってくるような、そんな展覧会でした。